

## →「宗教組織に所属することは必要ですか」 (MWB20260428 野外話)

### 0. (序論) (この質問について考慮するのはなぜ大切か?)

日本の野外で家の方からこの質問を受けることはまれかも。ある人は先の大戦で神道による天皇崇拝に騙されたかと思っていたり、キリスト教の腐敗や新しい宗教による犯罪を見て、宗教組織に属することに恐れを持っているからかも。その人は、特定の宗教に騙されなくて入信していない自分は、強く健全な人間だと安心していても、実は既に騙されていること知らない

私たちはどうか？ 私たちも、人々の入信を最初から期待していないことや、相手のこうした不安を気遣い、このテーマを話し合うことにあまり積極的になれないかも。でもエホバのお考えはどうか？

### 1. 宗教組織に所属することは必要ですか？

必要だと言える。(ヘブ 10:24、25) 神は人々が集まって一緒に神を崇拝することを望んでいる。イエスも弟子たちに「あなたたちの間に愛があれば、全ての人は、あなたたちが私の弟子であることを知る」と述べ、弟子たちがグループになることを示していた。

### 2. では宗教組織に所属していれば、どんな宗教でも、どんな組織でも構わない？

勿論違う。まるで仕事や趣味のように、どの宗教でも自分の好みで自由に選んで良い訳ではない。聖書は、神に受け入れられるには、良い生き方を促す清く汚れない宗教を選ばなければならないことを教えている。実際今もキリストの弟子は、互いに愛を表し仲間と交友を持つため、神を崇拝するために定期的に集まる会衆を各地に作り一致して救命活動を行っている。人々はエホバの地上の組織に属しエホバの証人になって恵まれた救命活動に携わる必要がある

### 3. (結論) (本日考慮したテーマは家の人と私たちにとっても重要で緊急なもの)

それで相手の考えや信条を大切に神の地上の組織に属することを決して強制しないからと言って、今は遠慮している時ではない。神のご意思による宣教奉仕が真の救命活動であることを忘れない。相手の救いを気遣うゆえにむしろ、人々が真の宗教組織を自分で見わけ、所属すること助けていく必要では真の宗教を見出しその組織に属することがどれほど大切なことかを伝え、宣教奉仕を楽しんでいく